

2026年9月期 第3四半期
(2025/10 – 2026/6)
決算説明資料

2026年8月

株式会社CSSホールディングス
証券コード：2304

Support The Hospitality

売上高・営業利益ともに3Q累計計画値をクリアして進捗、売上高は過去最高

スチュワード事業

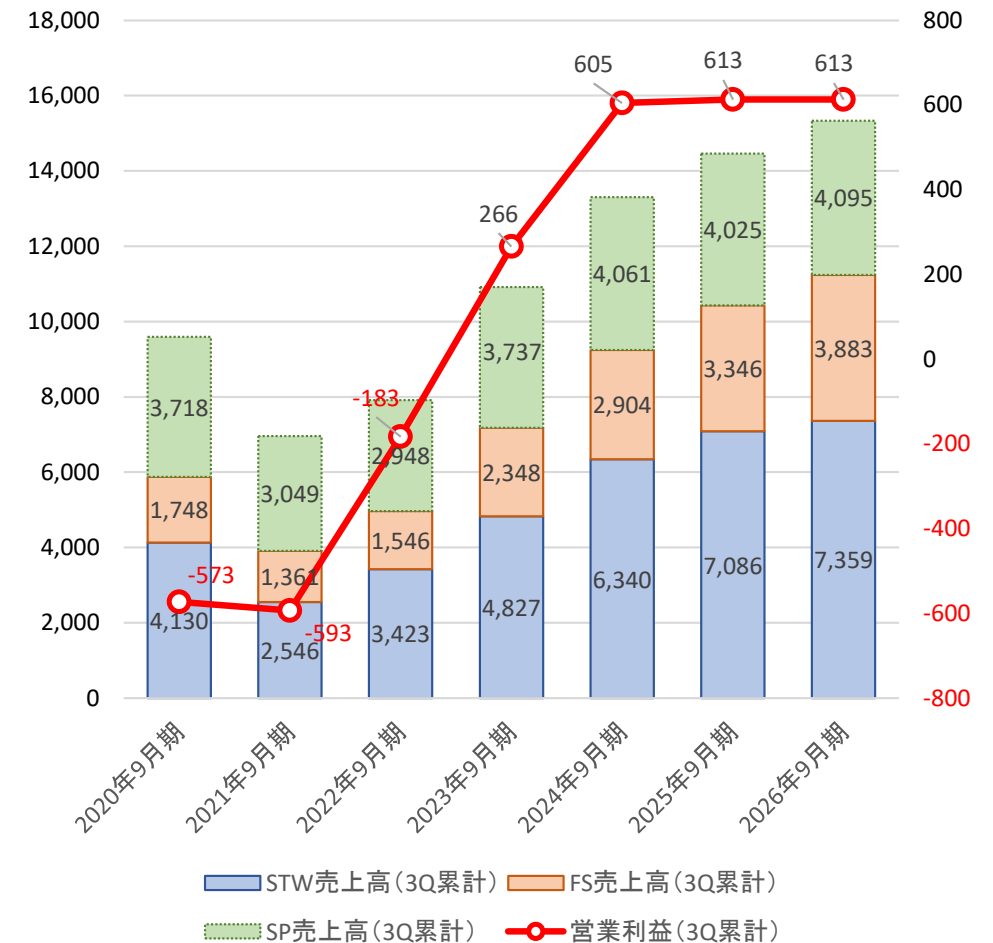
- 連結営業利益を牽引
 - 対計画+87百万円(117.8%)
- マルチAIエージェントを現場・本部締め業務への実装運用を開始
 - 現場管理の無駄やムラを減らして、事業の持続性を支える業界インフラを実現するための変革への投資
- 新規のマーケット開拓
 - 宿泊特化型ホテルにおけるナイトフロント業務を受注
 - 医療法人の受注・開業、累計9件に
- 外国人材に特化して入社3ヶ月フォロー研修を実施

フードサービス事業

- 連結売上高を牽引
 - 対計画+234百万円(106.4%)
- 人的資本を中心に基盤整備
 - 人材・教育や新規開業準備に投資

空間プロデュース事業

- 東洋メディアリンクスが収益性を牽引
 - 金融業界のセキュリティ機器への設備投資が旺盛



第3四半期累計 連結業績

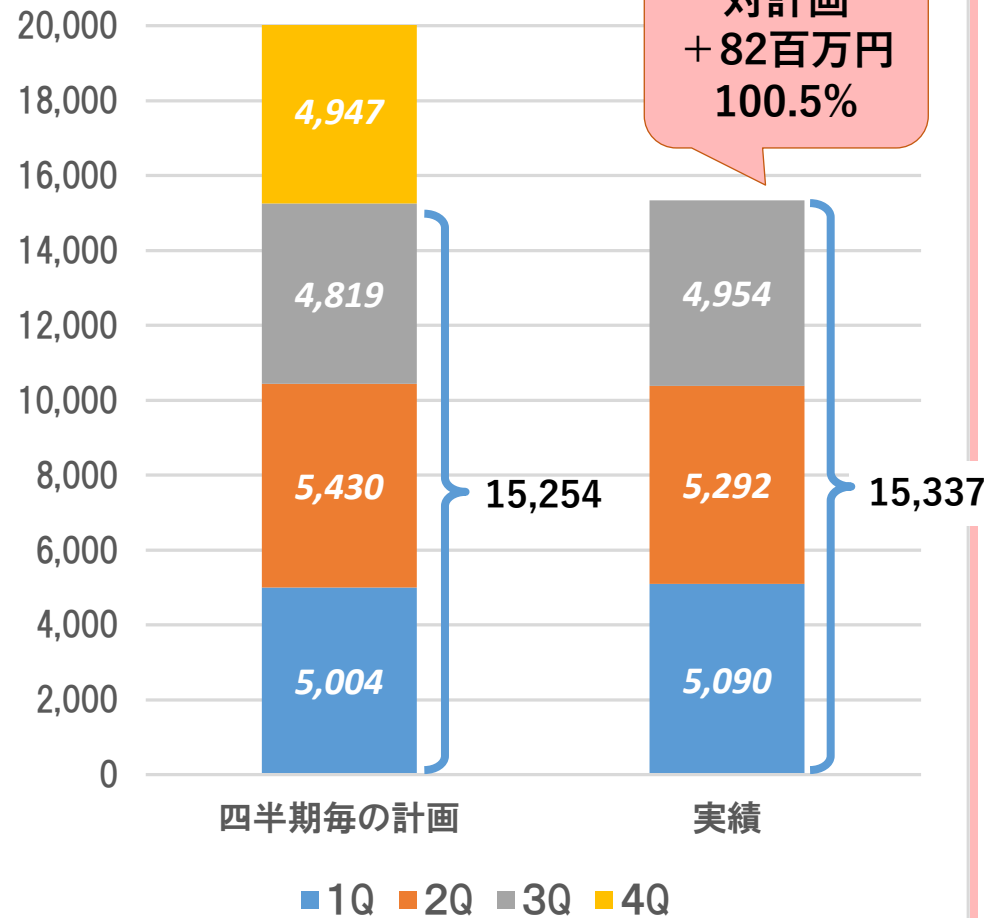
	2025年9月期 第3四半期累計	2026年9月期 第3四半期累計	2026年9月期 連結業績予想
売上高（百万円）	14,447	15,337	20,200
営業利益（百万円）	613	613	800
経常利益（百万円）	636	625	800
四半期純利益（百万円）	369	410	590
EPS 1株当たり四半期純利益（円）	73.71	82.79	117.95

	2025年9月期	2026年9月期 第3四半期累計
総資産（百万円）	6,317	6,516
純資産（百万円）	3,089	3,327

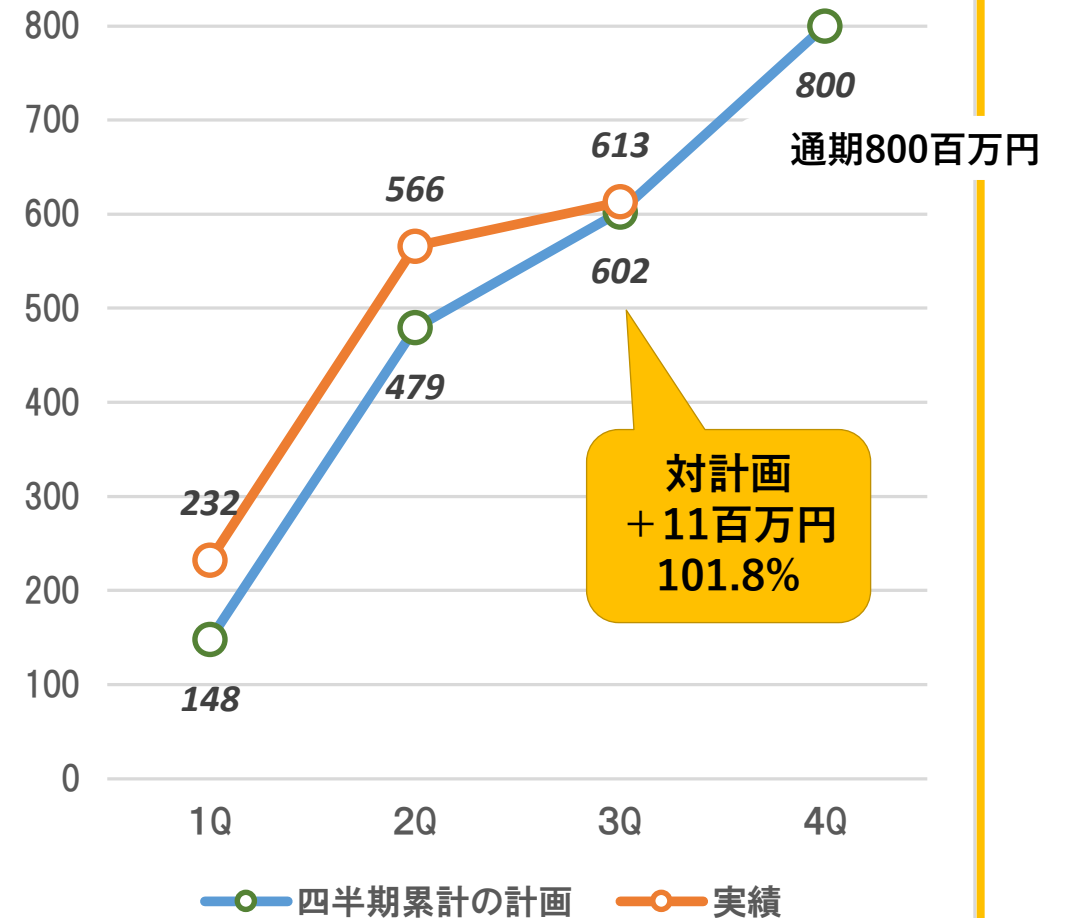
連結業績の対計画進捗

連結売上高

通期20,200百万円



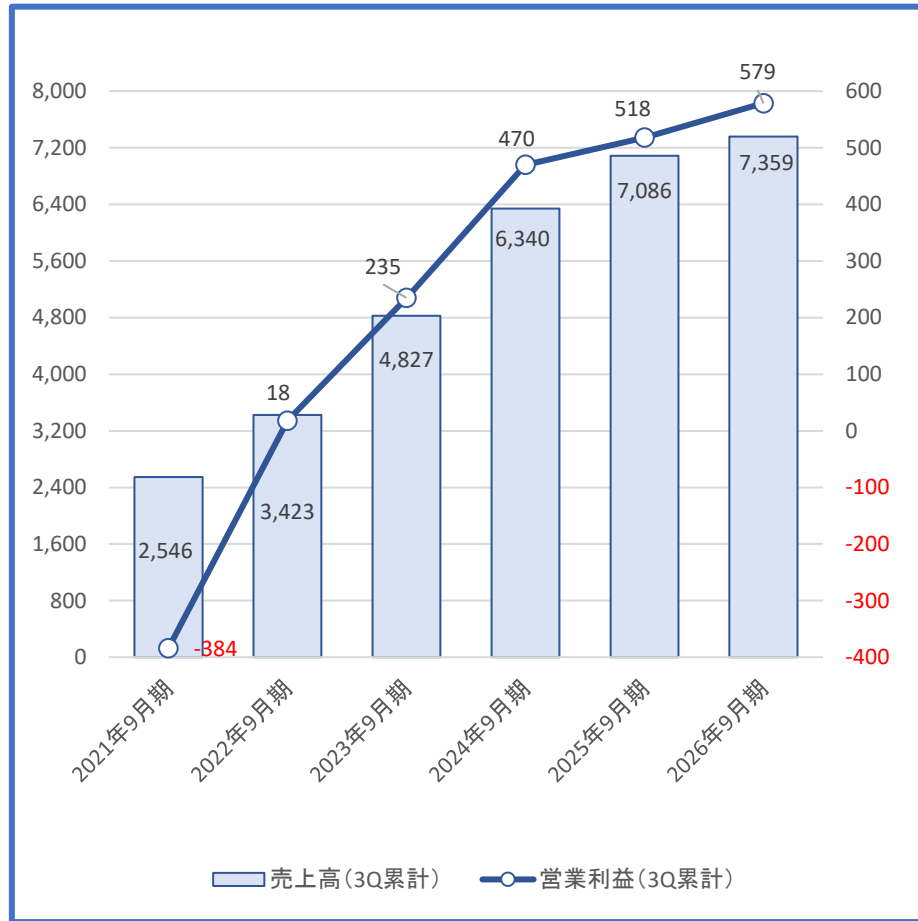
連結営業利益



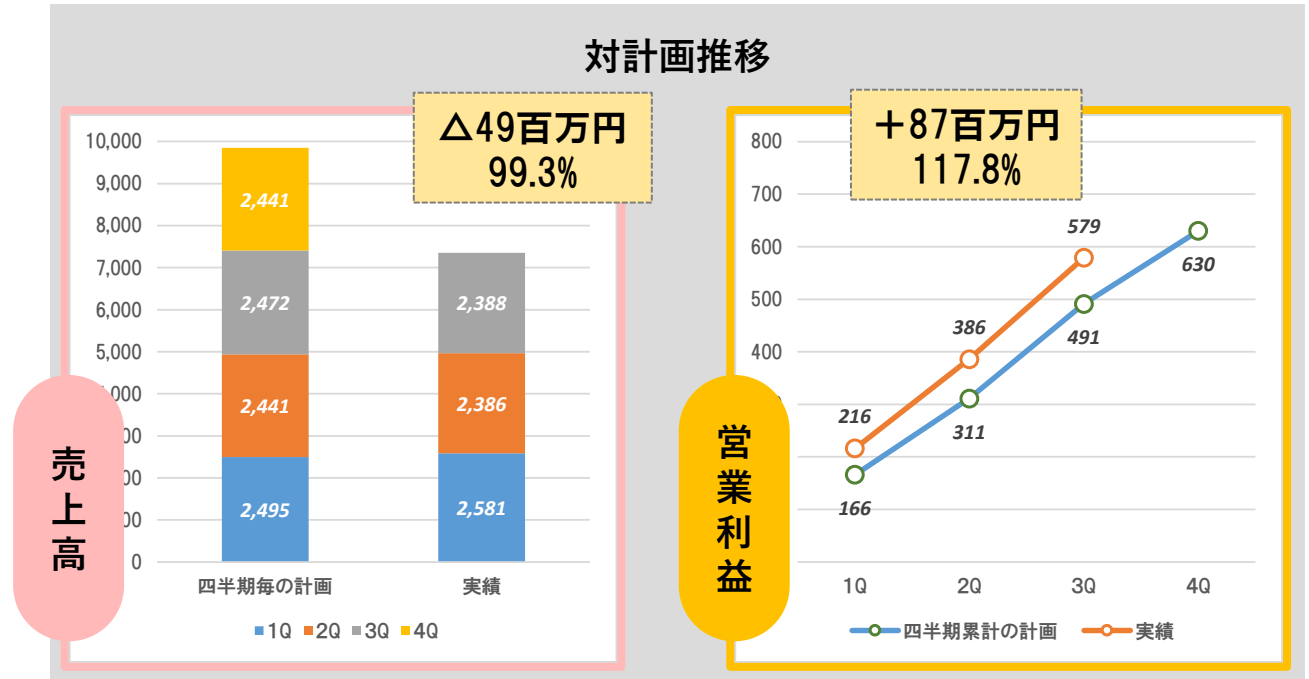
セグメント毎の業績推移

スチュワード事業

(単位：百万円)



対計画推移

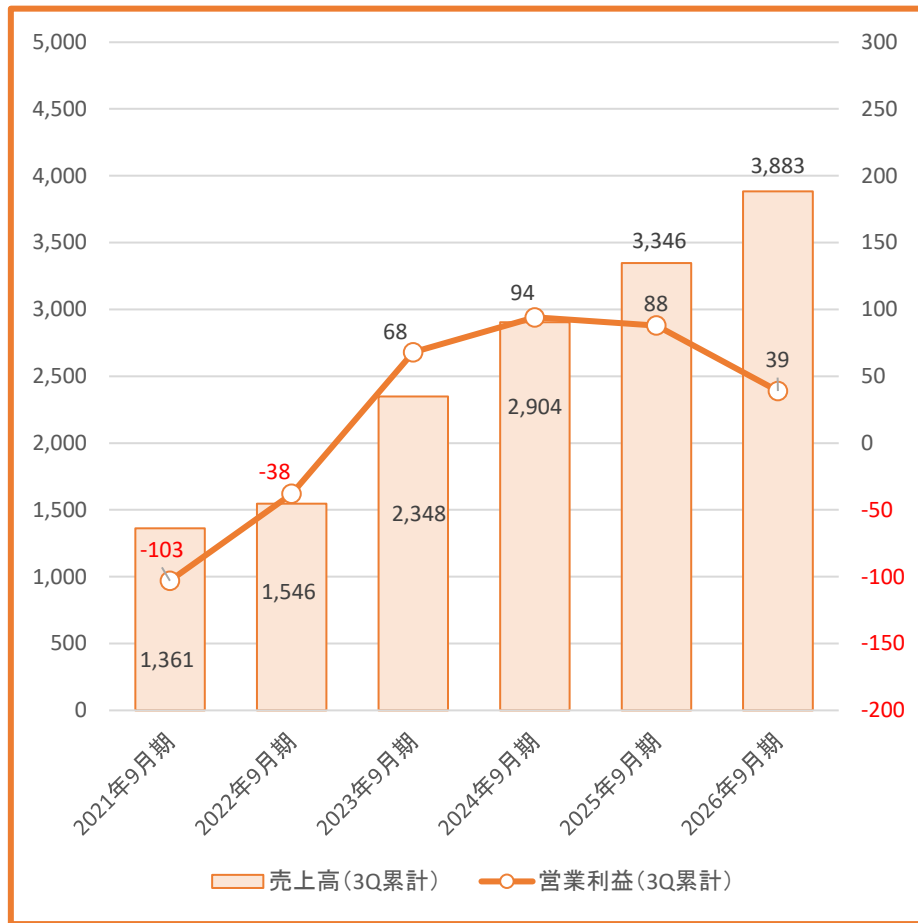


- ◎ 3Q累計で新規事業所7件を開業、通期は10件の新規開業見通し
- ◎ 病院案件は通期3件の開業見込み、総計で9件に
- ◎ 費用アップを反映した契約更改
- ◎ マルチAIエージェントを基幹業務に実装

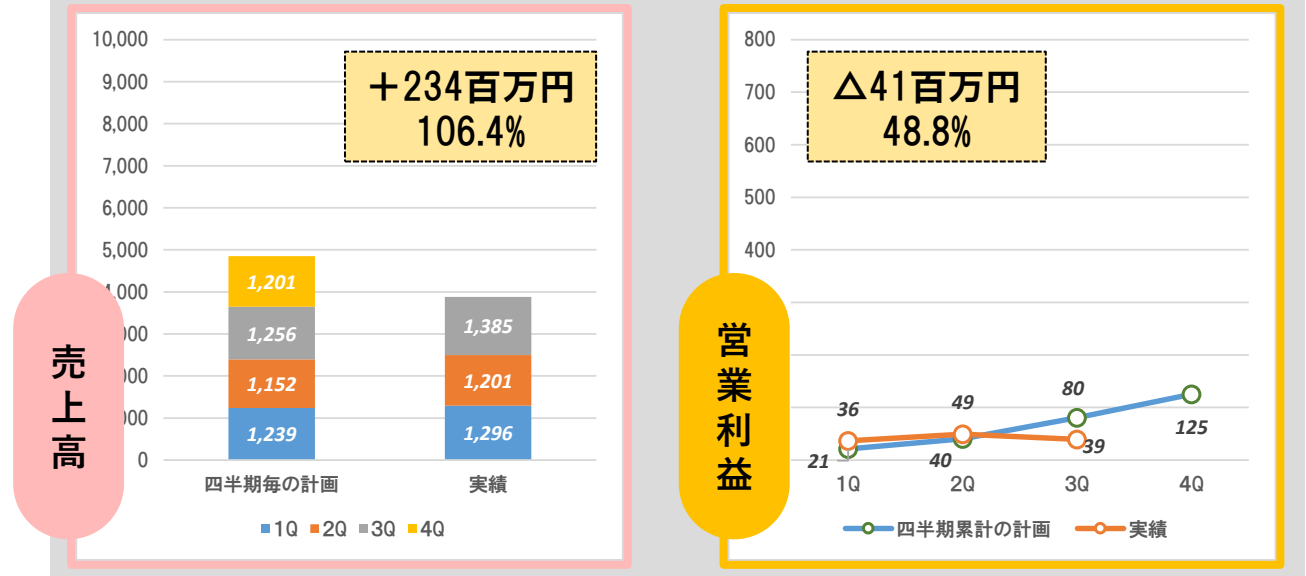
セグメント毎の業績推移

フードサービス事業

(単位：百万円)



対計画推移



- ◎ 3Q累計で新規事業所14件を開業、通期は17件の新規開業見通し
- ◎ 実績が評価され、新規ホテルチェーン展開が順調
- ◎ 人材投資の増強や、数多くの新規開業対応によるイニシャルコストの増加、食材、備品・消耗品等の値上がりに対応

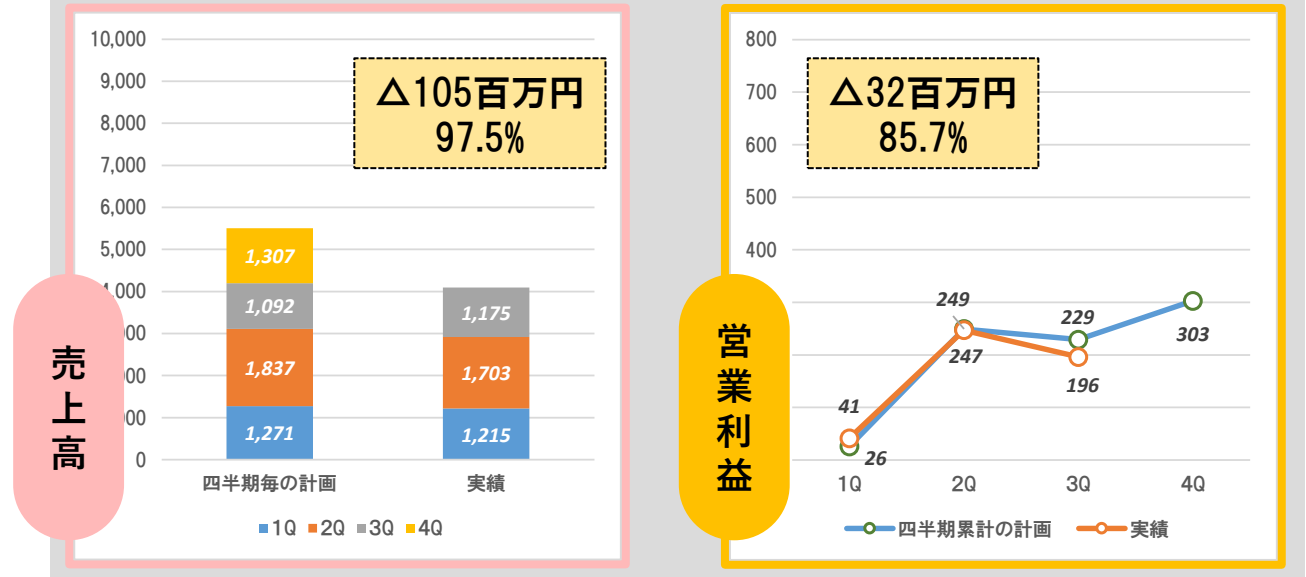
セグメント毎の業績推移

空間プロデュース事業

(単位：百万円)



対計画推移



- ◎ 東洋メディアリンクス、引き続き金融機関向けのITV（監視カメラ／Industrial TV）及び周辺装置・業務放送設備・モニター等の新規、更新需要が堅調

戦略的パートナーシップによる調理ロボ実装食堂「MAGIC CHEF」をオープン



TechMagic社との協業による「MAGIC CHEF」は、テクノロジーと人のサービスを融合し、持続可能な店舗運営を目指す「未来型食堂」

マルチAIエージェントを実装開始



「マルチAIエージェント」の実装開始、順次適用範囲を広げ、価値提供の拡大へ

医療分野での受託獲得が好調



アウトソーシング需要の高まりを捉え、医療分野の
スチュワード業務受託が累計9件へ拡大



展示会におけるグラス洗浄業務を受託



過去実績への高い評価により再受注。
イベント等のスポット需要対応でサービス価値向上を推進



新規ホテルブランド獲得による受託拡大が加速



5月、バンデホテル様にて複数の拠点と同時に受注。関
西・沖縄・九州の主要エリアで受託を実現



大学との産学連携によるメニュー開発・商品化の取り組み



専門知見を活かした産学連携プロジェクトに参加し、次世代育成および食育支援をはじめとする社会貢献を推進



アメリカンダイナー「Penta5on」様にてスピーカー導入



丁寧なヒアリングと環境調査により課題を解決し、他社製品からのリプレイスを実現

外国籍社員研修を実施しました



日本の企業文化理解やコミュニケーション強化を通じ
多様な人材が活躍できる職場環境づくりを推進

若手の育成と現場力強化に向けた調理コンテストの開催



新卒1・2年目がテーマ別メニューを考案。若手社員
の調理技術とモチベーションの向上を促進

免責事項

本資料は、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。また、本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を約束するものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。



CSSグループは持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

お問い合わせ

株式会社CSSホールディングス 経営企画室

TEL 03-6661-7840

FAX 03-6661-7841

E-mail hld-info@css-ltd.co.jp